

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	キャリアアップセミナーC	
科目基礎情報							
開設学科	スポーツ健康学科三年制		コース名	スポーツインストラクターコース		開設期	通年
対象年次	1年次		科目区分	選択		時間数	45時間
単位数	3単位		授業形態	演習			
教科書/教材	セミナー、資格ごとに配布します						
担当教員情報							
担当教員	セミナー開催協会などの講師			実務経験の有無・職種		有・スポーツ関連業界	
学習目的							
認定ストレッチングトレーナー・パートナー、キネシオテーピング、コンプレフロス、認定コンディショニングインストラクターなどの短期集中講座を受講し、様々な資格の取得や特殊な技術の取得を3つ目指します。 資格や技術の習得をすることで就職やスポーツトレーナー、スポーツ指導者として、活動や活躍の幅を広げます。 それによりそれぞれの活動が有利に進みます。							
到達目標							
「仕事に就く」「人の体を扱う」「指導する」ことを見据え、資格や特殊技術を取得することで個々のレベルアップをねらいます。 また、資格を取得することで就職、各種実習などの選択の幅を広げ、個人が活躍するためのキャリアアップにつながるようにしていきます。							
教育方法等							
授業概要	資格取得のための短期講座。 短期講座を受講、終了後にテスト受け合格をすると資格取得が可能。						
注意点	一回の欠席でも資格取得は不可能になります。 講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにして下さい。 身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	テスト合格で資格取得				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	コンプレフロスとは			コンプレフロスを理解する			
2回	ファッシアについて			ファッシアについて理解する			
3回	フローリングテクニック基礎			基礎的な取扱い方を理解する			
4回	上腕のコンプレフロス			上腕のコンプレフロスを理解する			
5回	上腕のコンプレフロス			上腕のコンプレフロスを巻ける			
6回	大腿のコンプレフロス			大腿のコンプレフロスを理解する			
7回	大腿のコンプレフロス			大腿のコンプレフロスを巻ける			
8回	前腕のコンプレフロス			前腕のコンプレフロスを理解する			
9回	前腕のコンプレフロス			前腕のコンプレフロスを巻ける			
10回	下腿のコンプレフロス			下腿のコンプレフロスを理解する			
11回	下腿のコンプレフロス			下腿のコンプレフロスを巻ける			
12回	手・指のコンプレフロス			手・指のコンプレフロスを理解する			
13回	手・指のコンプレフロス			手・指のコンプレフロスを巻ける			
14回	肩のコンプレフロス			肩のコンプレフロスを理解する			
15回	肩のコンプレフロス			肩のコンプレフロスを巻ける			

授業計画（１６回～３０回）		
回	授業内容	各回の到達目標
１６回	スポーツテーピング概論	スポーツテーピングの歴史・目的・効果などを理解する
１７回	手指のスポーツテーピング	手指のテーピングが巻ける
１８回	足関節の捻挫予防の基礎テーピング	足関節の捻挫予防の基礎テーピングが理解できる
１９回	足関節の捻挫予防の基礎テーピング	足関節の捻挫予防の基礎テーピングが深く理解できる
２０回	足関節の捻挫予防の基礎テーピング	足関節の捻挫予防の基礎テーピングが巻けるできる
２１回	足関節の捻挫予防の基礎テーピング	足関節の捻挫予防の基礎テーピングが上手に巻ける
２２回	膝関節の基本テーピング	膝関節の基本的なテーピングが理解できる
２３回	膝関節の基本テーピング	膝関節の基本的なテーピングが深く理解できる
２４回	膝関節の基本テーピング	膝関節の基本的なテーピングが巻ける
２５回	膝関節の基本テーピング	膝関節の基本的なテーピングが上手に巻ける
２６回	肉離れの基本テーピング	肉離れのテーピングが理解できる
２７回	肉離れの基本テーピング	肉離れのテーピングが巻ける
２８回	生活用の基本テーピング	日常生活で使えるテーピングが理解できる
２９回	生活用の基本テーピング	日常生活で使えるテーピングが幅広く理解できる
３０回	生活用の基本テーピング	日常生活で使えるテーピングが幅広く理解できる
授業計画（３１回～４５回）		
回	授業内容	各回の到達目標
３１回	幼児体育指導とは	幼児体育を理解する
３２回	幼児体育指導員とは	幼児体育指導員の役割・内容を理解する
３３回	発育発達について	発育発達について理解する
３４回	発育発達について	発育発達について理解する
３５回	幼児体育論	幼児体育を広く理解する
３６回	指導プログラム	指導プログラムを理解できる
３７回	指導プログラム	指導プログラムを深く理解できる
３８回	マット運動	マット運動の手本の仕方が理解できる
３９回	マット運動	マット運動の手本が見せれる
４０回	マット運動	マット運動の補助の仕方が理解できる
４１回	マット運動	マット運動の補助ができる
４２回	縄跳び	縄跳びの手本が理解できる
４３回	縄跳び	縄跳びの手本ができる
４４回	跳び箱	跳び箱の手本が理解できる
４５回	跳び箱	跳び箱の手本ができる